

団体名： 小牧商工会議所

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 今後の展開・改善点等 | 備考 | | | | |
|-------------|--|---|------------------------|----------------------------------|------|---------------------------------|------|--|-----------|-------------|-----------|-----------|----------|------------|--------------|--------------|--|-----|-----|
| | | | | 目標① | | 目標② | | 得られた効果 | | A B C D評価 | | | | | | 目標① | | 目標② | |
| | | | | 指標 | 達成度 | 指標 | 達成度 | 自己評価 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 自己評価 | | | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② |
| 巡回・窓口相談指導事業 | 地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の太宗をなす小規模事業者の経営基盤の安定強化のほか、創業・経営革新への積極的な支援を実施するため巡回及び窓口において相談・指導を行う。巡回相談指導では、小規模事業者と接点を持ち信頼関係を築くことや事業計画策定の意義を伝えることを重点に掲げ、各種施策の周知や経営実態と課題等について伴走型支援に努める。 | ・巡回窓口指導実企業数860社 ・巡回窓口指導延件数2,134件 ・課題解決提案件数63件 ・経営革新承認件数 5件 | 小規模事業者 | 指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 148.2 %) | | 指標 課題解決提案件数 (達成度 105.0 %) | | 本市商工業者の基盤をなす小規模事業者の経営基盤の安定化に努め、巡回窓口において相談指導を行い、小規模事業者並びに創業者、経営革新の支援に寄与することができた。また、課題解決提案によって指導の成果を明確にすることができた。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A | 調査結果 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② 現行どおり | 経営発達支援計画に基づき伴走型支援に取り組み。その他、「事業継続力強化」、「インボイス対応」、「小規模事業者のDX」を重点的に取り組む。 | ○ | |
| 講習会等 | 地域内事業者の大多数を占める小規模事業者の振興・安定に寄与することを目的に、経営知識の普及を図る。 | 講習会開催回数及び受講者数 ・個別 70回 299人 | 小規模事業者 | 指標 開催回数 (達成度 86.4 %) | | 指標 (達成度 %) | | 個別指導：新型コロナウイルス感染症の後遺症とも言える業績の落ち込み、原油高の影響、インボイスの対応など様々な問題点が事業者に降りかかっている。資金面での支援としての融資、補助金申請に絡む事業計画の見直し支援ができた。また、確定申告指導の有料化の継続、さらなる経費削減のための税理士削減により減少しつつある補助額への充当ができた。 集団指導：開催手法を変更し個別指導として開催 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A | 調査結果 B | 満足度 B | 補足 | 目標① 下げる | 目標② | 確定申告指導会については現状を鑑み、開催日数の削減により業務の効率化を図るとともに税理士の削減も狙う。また、引き続き事業継続力強化計画、インボイスのみならず、デジタル化に関して有益な情報提供や相談の場を提供して積極的に支援していく。 | | |
| 記帳継続指導 | 管内の小規模事業者（個人）を対象に、日々の記帳処理から決算・申告までを習得し自主申告することを目的に、定期的に対面指導を行う。経営状態が把握できるようになることで、経営力強化や事業計画策定など経営発達支援にも結び付ける。 | ・指導対象者数 31件 ・指導延日数 331日 ・指導延回数 398回 | 管内の個人の小規模事業者 | 指標 受託件数 (達成度 110.7 %) | | 指標 (達成度 %) | | 小規模事業者が帳簿記帳の知識を身に付けることにより、経営体質の強化と安定を図ることができた。また、事業所に合わせた資料の作成により、クラウド会計の定着や税制改正の情報提供、電子申告等の促進ができた。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A | 調査結果 A | 満足度 B | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② | 記帳指導・財務分析に加え、事業計画策定支援等を指導員と連携して支援する。また、新規受託先獲得のため、前項の個別講習会との差別化及び、他事業との連携の強化を図る。 | | |
| 若手後継者等育成事業 | 小規模事業者の振興と安定に寄与することを目的に、経営の改善発達を支援する事業を推進するにあたり、若手後継者等の育成・支援を通じて経営資質の向上を図る。青年部については自らの経営力向上および自己研鑽を目的に研修会への参加や勉強会の開催、上位団体が主催する全国大会の総会及び講演会等への参加を通じて地域内の商工業の振興を図る。女性会についても同様に、自己研鑽・自己啓発の一環としてセミナーを開催、また全国大会に参加するなどして知見を広め経営力を高める。 | ・青年部 部員数 58人 役員会・総会等 32回 ・女性会 会員数 41人 役員会・総会等 19回 | 小規模事業者を中心とする青年部員・女性会会員 | 指標 青年部部員数 (達成度 105.5 %) | | 指標 女性会会員数 (達成度 89.1 %) | | 役員会等を通じて組織運営の手法を学び、経営知識向上の一助とした。事業運営や会議の開催方法など常にあらゆる状況で想定し準備・運営することに対応力を向上することができた。また全国大会に参加し研鑽や交流を深めることができた。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A | 調査結果 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 上げる | 目標② 下げる | 継続して組織強化や円滑な事業運営に取組む。手法は、役員等を中心に協議・決定し推進する。 | | |
| | | | | 指標 目標数値 | 実績数値 | 指標 目標数値 | 実績数値 | | | | 自己評価 A | 調査結果 A | 満足度 A | 補足 | 目標① 現行どおり | 目標② 現行どおり | | | |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 小牧商工会議所

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 今後の展開・改善点等 | 備考 | | | | | | | |
|-----------|---|---|---------------------------------------|-------|--------------------------------------|------|---------|-------|---|--------|----|---|-----------|------------|--------|------|---------------|-----|-----|-------|-------|-------|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | | | A B C D評価 | | | | | | | | | |
| 地域振興祭事業 | 小牧市民の各世代のエネルギーを結集したまつりが開催されるに当たり、産業界として協力の下、小牧市民まつりが行なわれる。そのため実行委員会に参加するとともに催事に参画し、商工業者の団結とまちの活性化に寄与する。 | ・小牧市民まつり 来場者数 190,000人 準備1日、当日2日、 後片づけ1日 計4回 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 小牧市民まつり来場者数 (達成度 105.6%) | | | 指標 | (達成度 %) | | | 3年ぶりに事業が開催され、地域の活性化につながる事業実施においては、事業者の参画はアフターコロナに向けた経営改善、新たな事業展開のリスタートとなるべく機会となり、今後の地域経済の回復が期待できた。 | 総合評価 | A | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | |
| | | | | 目標数値 | 180,000 | 実績数値 | 190,000 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | | A | | B | 必要性 | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | A | A | 現行どおり | | | | | | | | | | | | | | | |
| 街づくり事業 | 商店街組織の衰退が進み、中心市街地活性化の主体となることが厳しい状況に陥っている。こうしたなか、商店街・市民団体・市・商工会議所を中心とした協働組織体「小牧にぎわい隊」の自主自立に向けた運営等の支援を行う。 | 総会 1回 正副会長会議 2回 役員会議 12回 イベント 5回 計 20回 | 中心市街地商店街（小規模事業者） | 指標 | 会議等開催回数 (達成度 68.8%) | | | 指標 | (達成度 %) | | | 新型コロナウイルス感染症拡大の中で、感染拡大防止の取り組みの中でイベントの開催をした。小牧にぎわい隊の在り方について役員会で検討し、中心市街地の店舗の情報発信力の強化というメインテーマを定めた。 | 総合評価 | B | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | |
| | | | | 目標数値 | 32 | 実績数値 | 22 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | | B | | B | 必要性 | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | C | B | 現行どおり | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域振興事業 | 小牧市の地域を7地区に分け商工会議所の事業の一翼を担い、会員事業所への情報提供（小規模事業者を中心に）を行うなどし、地域商工業の振興に資する。 | ・外山ブロック会 会議3回 事業1回 ・味噌ブロック会 会議3回 事業1回 ・篠岡ブロック会 会議1回 事業0回 計7回 計2回 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 会議開催回数 (達成度 58.3%) | | | 指標 | 事業開催回数 (達成度 33.3%) | | | 新型コロナウイルス感染症の影響により会議や事業などの実施を控えることとなったが、逆に施策に対する問い合わせが増えたことで中小・小規模事業者のニーズ把握とともに、事業所が必要とする施策支援に寄与することができた。 | 総合評価 | B | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | |
| | | | | 目標数値 | 12 | 実績数値 | 7 | 目標数値 | 6 | 実績数値 | 2 | | | | | B | | B | 必要性 | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | C | A | 現行どおり | 現行どおり | | | | | | | | | | | | | | |
| 経営相談・指導事業 | 中小・小規模事業者の求める専門的ニーズはより高まっており、企業の発展は、専門的なアドバイスや側面的な支援が必要になっているため、専門家を活用してそのニーズに応える。 | ・相談室運営に関する事項 定例開催（税務・会計） 随時開催（法律・特許・ 社会保険労務士） 相談室開催数 計58回 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 相談室開催数 (達成度 113.7%) | | | 指標 | (達成度 %) | | | 小規模事業者が経営上のさまざまな問題に直面した場合に、無料または安価でより専門的なアドバイスを求める機会を商工会議所が提供することにより経営のニーズに応えた。 | 総合評価 | A | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | |
| | | | | 目標数値 | 51 | 実績数値 | 58 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | | A | | A | 必要性 | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | A | A | 現行どおり | | | | | | | | | | | | | | | |
| 商談会事業 | 営業力の限られる中小・小規模事業者にとって、取引先の新規開拓は重要だが難しい問題である。このため、商談の場を提供することにより、取引の機会拡大を図る。 | ・2022年度（令和4年度）地域商談会（尾張会場）8件 ・アライアンス・パートナー発掘市2022 15件 | 中小・小規模の製造業及び県内商工会議所会員事業所のうち中小・小規模の全業種 | 指標 | 地域商談会（尾張会場）に参加の受注企業数 (達成度 100.0%) | | | 指標 | アライアンス・パートナー発掘市エントリー企業数 (達成度 100.0%) | | | どちらの商談会も、コロナの終息は見えないが開催方法を面談とwebで開催し、参加者が実際に会って話す機会を得られたことで、取引先など協力してくれるパートナー探しや、商談のチャンスを提供できた。 | 総合評価 | A | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | |
| | | | | 目標数値 | 8 | 実績数値 | 8 | 目標数値 | 15 | 実績数値 | 15 | | | | | A | | B | 必要性 | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | A | A | 現行どおり | 現行どおり | | | | | | | | | | | | | | |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 小牧商工会議所

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 今後の展開・改善点等 | 備考 | | | | | |
|------------|--|--|------------------------|------|--------------------------------------|------|-----|-------------------------------------|------|--|------|-----|---------|------------|------|-----|-------|-----|-----|--|
| | | | | 目標① | | 目標② | | 得られた効果 | | A B C D評価 | | | | | | 目標① | | 目標② | | |
| | | | | 指標 | 達成度 | 指標 | 達成度 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | | | 目標① | 目標② | | | |
| 青年部・女性会事業 | <p>青年部 次代の地域経済を担う経営者、後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質の向上と部員相互及び卒業生であるOB会との交流を通じ、企業の発展と豊かな地域経済社会を築く。</p> <p>女性会 多様化する商工会議所事業の一翼を担い、女性の特性を活かして商工会議所事業を推進し、もって商工業の総合的な発展を図る。</p> | <p>・青年部・女性会が主催する事業 青年部員による事業の運営、上部団体（県連等）、青年部OB会の活動に参加22回</p> <p>女性会会員による事業の運営、上部団体（県連等）の活動に参加13回</p> | 小規模事業者を中心とする青年部員・女性会会員 | 指標 | 青年部事業数 (会報発行を含む) (達成度 122.2 %) | | 指標 | 女性会事業数 (会報発行を含む) (達成度 92.9 %) | | <p>部員による事業の企画・実施や、上部団体等の活動に参加することにより、組織運営の手法を学んだ。事業運営や会議の開催方法をハイブリッド化するなど、より利便性の高い開催手法を取り入れることができた。</p> | 総合評価 | A | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | <p>役員等を中心に協議・決定し推進する。資質向上に資するよう効果的な事業運営の支援に努める。</p> |
| | | | | 目標数値 | 18 | 実績数値 | 22 | 目標数値 | 14 | | | | | 実績数値 | | 13 | 目標達成度 | A | 必要性 | |
| 部会・委員会事業 | <p>部会や委員会活動支援を行い、情報提供や企画事業の実施並びに中小企業施策への積極的対応(説明会・相談会等)をすることで、個別企業の発展に資し、企業の連帯感の醸成をすることを目的とする。また、地域の振興と消費喚起を図る。</p> | <p>・理財金融業・一般製造業・窯業ゴム化学工業・機械金属工業 各部会 ・産業振興・こまきブランド向上 各委員会 ・名古屋コーチングプロジェクト事業 計29回</p> | 中小・小規模事業者 | 指標 | 事業開催回数 (達成度 290.0 %) | | 指標 | | | <p>新型コロナウイルス感染症の影響の中で、オンライン会議やソーシャルディスタンスを図る事業企画をすることで、中小・小規模事業者支援に関わる事業実施ができた。また継続した中小・小規模事業者のニーズ把握とともに、施策普及支援に努めた。</p> | 総合評価 | B | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | <p>withコロナを鑑みた事業企画立案・実施に努め、中小企業・小規模事業者のニーズを把握し、各種事業展開に反映させることで、参加事業所発展への一助となる支援に努める。</p> |
| | | | | 目標数値 | 10 | 実績数値 | 29 | 目標数値 | | | | | | 実績数値 | | | 目標達成度 | B | 必要性 | |
| 労働保険事業 | <p>労働保険への加入手続、保険料の申告・納付手続、その他雇用保険の被保険者に関する手続等各種の事務処理は中小企業の負担となることが少なくない。労働保険事務組合を設置することにより中小企業事業主の負担を軽減するとともに各種制度を推進する。</p> | <p>・労働保険事務組合小牧商工会議所運営に関する事項委託事業場数 510件 取得・喪失給付事務 804件 労働保険事務組合連合会等会議・研修会 4回 ・小牧商工会議所建設一人親方組合運営に関する事項委託事業者数 60人</p> | 中小・小規模事業者 | 指標 | 労働保険事務組合委託事業場数 (達成度 102.8 %) | | 指標 | 一人親方組合委託事業者数 (達成度 107.1 %) | | <p>小規模事業者の事務負担量を大幅に削減し、助成金や各種給付申請についても適切な助言を行い、労働保険制度を有効に活用できた。</p> | 総合評価 | A | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | <p>未加入事業所の適用を促進し、委託事業所に現状に合った事務手続きや適正な納付を推進していく。また、デジタル化による業務効率向上及び委託事業場支援拡充に努める。</p> |
| | | | | 目標数値 | 496 | 実績数値 | 510 | 目標数値 | 56 | | | | | 実績数値 | | 60 | 目標達成度 | A | 必要性 | |
| 雇用促進事業 | <p>個人の能力を大いに発揮し業務に精励し、在籍する事業所への貢献・功績があった従業員や他の模範となる優良従業員のうち10年以上同一の事業所へ勤務する従業員を表彰することで、地域企業への就業者の確保や定着促進を図ることを推進する。</p> | <p>・会員中小・小規模事業者を対象に優良従業員表彰制度の周知を行う。更には、会報やメールマガジンを通じて募集し表彰を行った。優良従業員表彰者人数 2名</p> | 会員中小・小規模事業者 | 指標 | 優良従業員表彰者人数 (達成度 20.0 %) | | 指標 | | | <p>在籍する事業所への貢献・功績があった従業員だけではなく永年勤続の従業員を表彰することで、福利厚生の充実や従業員のモチベーションの創出を支援した。</p> | 総合評価 | B | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | <p>業務移管のため、経営改善普及事業より除外する。</p> |
| | | | | 目標数値 | 10 | 実績数値 | 2 | 目標数値 | | | | | | 実績数値 | | | 目標達成度 | B | 必要性 | |
| 税務関係団体指導事業 | <p>小牧税務署や他団体と連携し、税に関する情報交換や、傘下中小・小規模事業者への税務知識普及推進を行う。</p> | <p>・小牧法人会小牧4支部、小牧税務連絡協議会企画運営委員会等共催にて会議の開催及び運営指導を行った。 会議、事業等開催回数 20回</p> | 中小・小規模事業者 | 指標 | 会議・事業開催回数 (達成度 125.0 %) | | 指標 | | | <p>管内中小・小規模事業者の税務知識、適正納税の普及を関係団体と連携して推進を図った。</p> | 総合評価 | A | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | <p>事業承継税制や消費税(インボイス制度)所得税、電子保存法などの税制改正への対応に対して、引き続き関係団体と連携して支援事業の充実を図る。</p> |
| | | | | 目標数値 | 16 | 実績数値 | 20 | 目標数値 | | | | | | 実績数値 | | | 目標達成度 | A | 必要性 | |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 小牧商工会議所

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | | | 備考 | | |
|-----------|--|--|-----------------------|------|------------------------------|------|---------|--|------|--------|-----------|------|-----------|------|-------|-----|------------|---|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | A B C D評価 | | | | | | 今後の展開・改善点等 | |
| | | | | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | | 総合評価 | 事実評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | | 補足 | 目標① |
| 産業団体等指導事業 | 小規模事業者主体の団体への組織運営手法などの指導を通じ、参加組合員の経営改善の一助とする。 | ・小牧喫茶店組合、愛知県商店街振興組合連合会小牧支部、小牧市発展会連絡協議会、小牧市北里発展会、小牧市東部商店街振興組合運営指導を行った。 会議・事業等の開催回数 計16回 | 小規模事業者を中心とする地域商工業者・団体 | 指標 | 会議・事業開催回数 (達成度 64.0 %) | 指標 | (達成度 %) | 団体への事業支援による地域振興を図った。 | 総合評価 | B | 事実評価 | 自己評価 | 事業者への調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 各団体の事業を通じ、組織強化を目指し、また、事業支援による地域振興を図る。 |
| | | | | 目標数値 | 25 | 実績数値 | 16 | 目標数値 | | 実績数値 | | | B | 必要性 | | 下げる | | |
| | | | | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | | C | B | | 現行どおり | | | |
| 情報収集提供事業 | 当所が発行する「会報」「相談所便り」「メールマガジン」により小規模施策、各種事業をPRし小規模事業者の各種制度の利用を勧奨する。また商工振興モニター制度による小規模事業者の経営情報等の収集と取りまとめを行う。 | ・会報 12回 ・相談所便り 3回 ・メールマガジン 32回 ・商工振興モニター 100件 | 中小・小規模事業者 | 指標 | メールマガジン発行回数 (達成度 152.4 %) | 指標 | (達成度 %) | 中小・小規模事業者向け施策や各種事業等の情報提供を行い、施策を活用したいと考える中小・小規模事業者が増えた。特に、新型コロナウイルス感染症や補助金に関連する情報を随時発信したことにより、メールマガジン登録者数が増加した。 | 総合評価 | A | 事実評価 | 自己評価 | 事業者への調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 小規模事業者にとって有益となる情報発信を継続して行う。 新型コロナウイルスの影響を考慮し、各種施策をメールマガジン号外として柔軟に対応し周知を図る。 |
| | | | | 目標数値 | 21 | 実績数値 | 32 | 目標数値 | | 実績数値 | | A | B | | 上げる | | | |
| | | | | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | | A | A | | 現行どおり | | | |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。